

公益社団法人インテリア産業協会

令和6年度事業計画

2024年4月1日～2025年3月31日

I 基本方針

新型コロナウイルス感染症が収束し、世界ではデジタルとリアルを融合した新しい「暮らしかた」や「働きかた」が始まりましたが、企業活動においてはサプライチェーンの混乱や労働力不足等に起因したコスト上昇分を価格に転嫁しきれない状況が続いています。

このような環境の中、今年度協会は以下の重点方針により、国民の住生活のさらなる向上に貢献します。

1. 協会活動全般

収益事業の実施や会員の協会活動への積極的参加を推進する事により、効果的かつ安定的な公益目的事業の運営を目指します。またITの活用やガバナンスの強化に努め、時代に即した透明性のある協会活動を推進します。

2. 資格認定試験

昨年のインテリアコーディネーター（IC）資格認定試験に続き、今年度はキッチンスペシャリスト（KS）資格認定試験にCBT（Computer Based Testing）方式を採用し、受験者の利便性を向上させるとともに事業リスクの低減を図ります。

3. 能力向上・育成関連

社会情勢や市場の変化に対応すべく、ICハンドブックとKSハンドブックの改訂作業を加速させます。また講座事業コンテンツの整理拡充や支部のセミナー事業の活性化に注力します。

4. 収益事業

IC・KS資格者の登録更新等の収益事業を通じて、会員や資格者の経済活動に資する有益な情報提供を早期に実現し、公益目的事業の安定的運営を図ります。また、資格登録更新業務のオンライン化に取り組み、登録時の資格者の利便性向上と業務の効率化を図ります。

5. 情報・広報活動関連

ITの活用や発信する情報の見直しによって、より有益な情報提供に努めます。

II 公益目的事業（内閣府に認定を受けている事業ア～カ）

ア. インテリアコーディネーター等を目指す者への教育、情報提供

1. IC・KSハンドブック等の書籍頒布

ICまたはKS資格認定試験を受けようとする者、インテリアについて学ぼうとする者などに対して、ICハンドブック、KSハンドブックを頒布して、その学習を支援します。また、ICハンドブック統合版（上巻・下巻）、改訂二版KSハンドブックは、マーケットや社会情勢の変化に合わせた改訂作業を推進します。

2. 資格取得の学習等を支援する通信教育事業

ICまたはKS資格認定試験を受けようとする者、インテリアについて学ぼうとする者を対象として、引き続き通信教育による講座を開講します。教材については、ハンドブックと同様に一部改訂作業を実施します。

イ. インテリアコーディネーター等の認定試験

1. IC資格認定試験

第42回IC資格認定試験の一次試験〔学科〕は、CBT方式による試験を全国47都道府県の試験会場（テストセンター）において、次の日程での実施を予定しています。

2024年9月中旬～10月中旬

また、二次試験〔プレゼンテーション・論文〕は、これまでと同様に全国12地域において、次の日程での実施を予定しています。

2024年12月8日（日）

2. KS資格認定試験

今年度から〔学科試験〕にCBT方式を採用します。

第37回KS資格認定試験の〔学科試験〕は、CBT方式による試験を全国47都道府県の試験会場（テストセンター）において、次の日程での実施を予定しています。

2024年11月下旬～12月中旬

また、〔実技試験〕は、これまでと同様に全国12地域において、次の日程での実施を予定しています。

2024年12月8日（日）（IC二次試験と同日、同地域）

ウ. インテリアコーディネーター、一般生活者の能力向上のための講座等の開催

- (1) IC・KS有資格者や一般生活者へのインテリアの基礎知識の習得や能力向上のために、全国各地で講座等を開催します。
- (2) 高等学校の生徒を対象に、インテリア関係の「出前授業（講座）」を実施します。
- (3) 一般生活者向けのインテリア普及セミナーを地域の公共図書館と協力して開催します。
- (4) 一般生活者向けのインテリアに関するワークショップ講座「Let's インテリア」を、開催します。

エ. インテリアコーディネーター等が実施する調査・研究に対する支援

I C・K S資格者や一般生活者が行う、インテリアやキッチンに関する調査や研究活動を支援し、広く有益となるテーマに対してその経費の一部を助成します。昨年度に引き続き、インテリア分野とキッチン・水回り分野に分けて募集します。

オ. インテリアコーディネーター等を目指す者及びインテリアコーディネーター等の能力向上のためのコンテストの開催

I C・K S資格制度の普及と資格者等の能力向上を目的に、誰もが自由に応募可能な次のコンテストを実施します。優秀作品については、協会ウェブサイト、展示会、作品集等で広く紹介します。

1. 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト

今年度も経済産業大臣賞（事例分野）、経済産業省製造産業局長賞（課題分野）の下付を申請してコンテストを実施します。「高校生の部門」のコンテストについては、従前どおり一般への募集に先がけて行い、その応募の利便を図ります。

2. キッチン空間アイデアコンテスト

キッチン空間に関する生活者の動向を踏まえ、自由な発想と提案を求めるテーマを設定し、誰でも応募できる内容で引き続き実施します。

カ. 消費者に対するインテリアに関する普及啓発活動及び展示会の開催

1. 絵画コンテスト

小学生から作品を募集して展示する「こんな部屋いいな絵画コンテスト」を開催します。インテリアを考える楽しみを見童の素直な感性で自由に表現した作品を募集いたします。

2. 展示会

(1) 本部が参画する催し

インテリアの普及を目的に、展示会出展に取り組み、一般生活者にとって有意義な出展を行います。

(2) 支部が参画する催し

支部での展示会は、それぞれ地域の会員企業の協力を得て引き続き出展します。

3. インテリア普及教材の無償頒布

(1) 中学生向けインテリア普及教材の作成頒布

中学生を対象としたインテリアの学習用教材「中学校技術・家庭科副読本」の頒布を引き続き行います。

(2) 高校生向けインテリア普及教材の作成頒布

高校生を対象としたインテリアの学習用教材「高等学校家庭科（住生活）資料」の頒布を引き続き行います。

III 収益事業

1. インテリアコーディネーター等の登録事業

(1) 資格登録

IC・KS 資格認定試験の合格者に対して、資格登録の案内通知を行い、登録申請者に対して資格証を発行します。

(2) 登録更新

資格登録更新業務のオンライン化に取り組み、登録時の資格者の利便性向上と業務の効率化を図ります。メールアドレス未登録者に対しては、メールアドレスの登録を引き続き促し、住所不明者に対しては、登録メールアドレス等を活用した現住所確認を継続し適切に更新資料を送付します。

(3) IC・KS 読本

資格者の学習に有益となる知識・情報を精査し、その内容を盛り込んだ「IC・KS 読本」の制作を継続します。更新案内時に資格更新対象者全員に配布するとともに、新規登録者にも配布します。

2. インテリア実務講座

インテリアコーディネーター等の収益力アップや、商業的なノウハウ、職業人としてのスキルアップに的を絞った専門講座の開発・実施に注力します。

3. インテリア産業従事者（資格者及び会員）の知名度向上と能力拡充のために行う教育、情報提供事業

企業から対価を受領して商品情報を収集する等により、インテリア産業従事者に提供するコンテンツの整備に注力します。教育や情報提供の手段は、セミナーやITを活用するなどコンテンツごとに最適な方法を採用します。

IV 協会の組織運営

1. 協会に設置する委員会

外部有識者や協会会員企業により委員会を構成し、各事業の実施の方向性等に対する検討・助言を踏まえ事業活動方針を決定し、これを推進します。

2. 会員活動

IT等の活用により、本部、支部と会員との情報共有と連携を強化し、会員企業が協会活動に積極的に参画することを推進します。

3. その他

IC・KS 資格試験受験申込者増や資格申請者・更新者増に向けた改善策を引き続き検討します。

以上